

【Barntar】

説明

解説

■神殿

嵐の神殿、神。

■称号、職能

農夫。農業の神。

■概略

オーランスとアーナールダの初子で、嵐の部族中もっとも優れた農夫の神。皆を食べさせるため誠実に働く氏族の背骨のような存在とされる。

穏やかでまったく戦の技を持たないが、父から勇気を受け継いでおり臆病者ではない。オーランスは赤子のバーンターを抱いたとき初めて父親としての自覚を持ち、平和の必要を悟った。また、バーンターがヴェイドラスに殺されたのが同族殺しの始まりと言われる（バーンターはその後、アーナールダによって連れ戻された）。

■異界

バーンターは嵐の領域にステッドを持っており、大きな家にマホームイと住んでいる。

組織

■聖日

■大聖日

鋤を祝福する日（海の季、調和の週、風の日）

■下位カルト

なし。

■好まれる神友

鋤（でしょう）。

業績

- ・（その神のなした業績を一行で書き表そう。その業績は単独で記事にしよう）

近親

■両親

父親はオーランス。

母親はアーナールダ。

■兄弟姉妹

両親を同じくする者には以下の者がいる。

レダルダ、

ヴィンガ（オーランスの姉妹とする神話も存在する）、

ヴォーリア（アーナールダと*イエルム*の子とする神話も存在する）。

ヴォーリオフ（オーランスと*ヘレーラ*の子、ないしはヘラーとアーナールダの子とする神話も存在する）。

同父兄弟姉妹にはオデイラ、“冒険者”デストール、ヘドコーランス、“闇に響く雷鳴”大音声、ヴィングコットがいる。

■配偶者

マホーメイ。

別名

なし。

神知者分類法

（ルーンクエスト時代の所持ルーンを書こう）

参考

なし。

参考文献

実際に記事を書く上で参考にした資料をあげましょう

- ・『グローランサ神名録』 p.-
- ・『ゆりかご河』 p.-
- ・『Thunder Rebel』 p.88,p.136-137
- ・『Storm Tribe』 p.204-207